

厚狭^{ひと}人ダイアログ（厚狭中学校）

厚狭中学校では、3年生が進路や将来などについて考える学習が行われました。生徒は、ユーチューバーやイベント企画運営者、地域おこし協力隊員などから、やりたいことを見つけたり進路を決めたりするまでの過程や考えなどを聞きました。その後、地域内外の人生の先輩の生き方に関する考えも参考にして、自分の今後の生き方をイメージする一助になったのではないかと思います。今回の学習には厚陽中学校3年生も参加・交流しました。なお、今後、この学習を基にして自分の将来像を描く学習が予定されています。



地域学校協働活動推進員情報交換会（厚狭地域交流センター）

本市では、教育委員会が地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域連携教育を推進する取組が始まって2年目になります。地域連携教育を進める上で、地域学校協働活動推進員の資質向上は極めて重要で、そのための研修機会として今回情報交換会を開催し、12名の地域学校協働活動推進員の皆さんが参加されました。はじめに、地域学校協働活動推進員の役割を再確認しました。次に、各校における地域学校協働活動推進員の取組の様子を話していただき、以下のような意見が出ました。

- ・ 校長・交流センター長と毎月話す機会をもっている。
- ・ 学校から依頼された職場体験や職業講話、模擬面接、習字指導、花壇整備などでは、企業や事業所、老人会、地域の人、地域交流センターなど、いろいろな方面に声をかけている。
- ・ 地域交流センターの生涯学習クラブにミシンの指導をお願いした。
- ・ 地域行事のポスターを中学生に作成してもらったら好評で周知する上で効果があった。
- ・ 保護者の意識が高まって、一人一役ということでやってもらえるようになってきた。
- ・ 地域の人や保護者にボランティアをお願いするが、なかなか難しい。地域の回覧板でボランティア登録をしてもらっている。
- ・ 地域行事があまりなく、学校支援がほとんどで、足りないところを地域の人に頼んでいる。
- ・ 児童生徒が農園で作物を栽培、販売している。自分たちで育てる意識をもたせ、大人は手伝い役に徹している。



年が明けて2回目の研修会を実施する予定です。

